

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

経営理念

地理空間情報を核として、社会課題に誠実に向き合い、安全・安心で持続可能な社会構築に貢献

連結売上高
600億円

連結営業利益
45億円

自己資本利益率
10%

連結売上高
450億円以上

② 中長期の経営戦略

1. 事業ポートフォリオ多様化

空間情報技術を核に、重点分野や新規事業展開を推進。漸進的・革新的イノベーション実現

3. 新規事業創造

センシングロボットSierやCVC投資により、インフラメンテナンス自動化・3D空間情報社会実装推進

2. M&A・技術開発・人財育成

センシング技術やAI活用DXを基盤に、積極的M&A、技術投資、人財強化を推進

4. サステナブル経営推進

バイオジェット燃料利用、再生可能エネルギー使用、GHGプロトコル排出量管理を実施

③ 対処すべき課題

① 経済環境の不確実性対応

- ・物価上昇・金融市場変動への対応
- ・世界的インフレ・円安・地政学リスク対応
- ・公共事業予算水準維持の中での成長

② 社会課題解決への貢献

- ・自然災害復旧・防災減災、国土強靱化対応
- ・デジタル改革・脱炭素社会実現への推進
- ・計測技術によるカーボンクレジット創出

③ 激動環境への対応

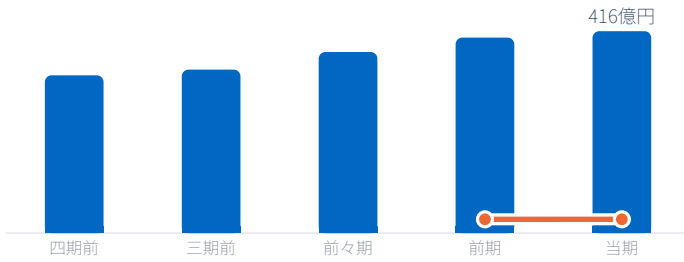
- ・複雑化する社会課題への技術深化・探究
- ・時空間データマネジメント・モニタリング確立
- ・ビジネスモデル転換と成長市場進出

面接で使えるポイント

- ・長期ビジョン2033で連結売上高600億円、営業利益45億円達成を目指す成長企業
- ・空間情報技術を核とした漸進的・革新的イノベーションで社会課題解決に取り組む
- ・バイオジェット燃料利用など業界をリードした先進的サステナビリティ施策を推進

証券コード 9233

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

要するに

1949年創立の上場企業で、空間情報コンサルタント事業を展開しています

主力事業・セグメント

・空運業（セグメント未開示）

強み・特徴（公開データから）

・－（判定に必要な数値が未開示）

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

暗記する数字3つ

連結売上高
416億円営業利益率
6.9%財務健康度
52点 / 100点

将来性 曇り時々雨 / 就活偏差値 54.5（当サイト算出の参考指標）

平均年収
730万円

空運業内 3位/5社

平均年齢
44.0歳

空運業内 2位/5社

平均勤続
13.0年

空運業内 2位/5社

女性管理職
8.7%

空運業内 4位/4社

男性育休
61.9%

空運業内 4位/4社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

